
令和7年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和7年3月3日

質問者（質問順）

- 1 田中 ゆき 委員（立憲党）
- 2 柏原 すぐる 委員（維新会）
- 3 坂本 勝司 委員（民主フ）
- 4 鴨志田 啓介 委員（自民党）
- 5 渡邊 忠則 委員（自民党）
- 6 市来 栄美子 委員（公明党）
- 7 大野 トモイ 委員（トモイ）

政策経営局

局 別 審 査

1 田 中 ゆ き 委員（立憲党）

1 ハッカソンの展開について

(1) 令和6年度「地域共生ハッカソン」の評価について伺いたい。

(2) 学校関係者へのインセンティブを高めていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 学校関係者への感謝状の授与や「アドバイザー」の称号付与、「地域共生ハッカソン」のホームページ上で学校関係者をタップすると、その関係者の研究室等のPRにつながるなど、インセンティブを高めるよう、取り組んでいただきたい。

(3) より多くの企業がハッカソンに参加したいと思うような仕組みづくりが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後も、社会課題をチームで解決したいという横浜の学生達の熱い思いを受け止め、ハッカソンをより良い事業としていていただきたい。

2 特別市制度について

(1) これまでの取組の歴史と目的について伺いたい。

(2) 特別市の名称認知度について伺いたい。

(3) 特別市の内容認知度について伺いたい。

(4) 特別市についてより多くの市民の皆様を知っていただくために、更なる取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 早期法制化へ向けて、県内3政令市や指定都市市長会とも連携しながら、引き続き、国へ働きかけるとともに、市民理解・共感を深める取組を推進していただきたい。

3 男女共同参画の推進について

(1) デートDV・DVについて

ア 新たな啓発動画作成の狙いについて伺いたい。

イ 広報啓発における動画の活用方法について伺いたい。

(要望) 本取組の効果を検証し、デートDV・DVの被害者、加害者、傍観者をなくすための取組を、より一層推進していただきたい。

(2) 男女共同参画の視点を取り入れた防災について

ア 令和7年度の取組について伺いたい。

イ 他の区局と連携し、男女共同参画の視点を取り入れた拠点運営のサポートを積極的に行っていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 誰もが男女共同参画の視点をもって拠点運営に関われるよう、平時から、男女共同参画の視点が市民の皆様に浸透する取組を推進していただきたい。

(3) 男女共同参画センターにおける男性相談について

ア モデル実施の取組内容について伺いたい。

イ モデル実施に当たっては、相談を必要とする男性が相談につながるよう、積極的な広報を展開していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 事業の効果を検証し、男性の支えとなるような相談窓口を目指していただきたい。

4 横浜版地域循環型経済について

(1) すずき野団地での検討で明らかになった課題について伺いたい。

(2) 身寄りのない高齢者の意思決定支援における、終身サポート事業者などの民間との連携について伺いたい。

(要望) 事業者との連携においては市民の皆様に不利益が生じないように、検討いただきたい。

(3) 市民や地域に丁寧寄り添いながら、主体的市民を支援し、育んでいく取組が重要と考えるが、見解を伺いたい。

(4) 展開していく上で、継続性の視点を大切にしていけるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(5) 誰ひとりとして取り残されない市政にするために大切にしていることについて伺いたい。

1 政策経営局における施策検討について

- (1) 政策・施策展開の新たな視点を踏まえた令和7年度の取組について伺いたい。
- (2) 現在、専門委員が2名体制となっている理由について伺いたい。
- (3) 外部の専門的視点から助言や議論の前提となる材料を提供してもらうこと、市民に見える形で公開されていることが重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 政策経営局における政策課題検討に対する新年度に向けた外部の知見の活用について伺いたい。

2 特別市制度について

- (1) 大阪都構想の取組をどう捉えるか伺いたい。
- (2) 総合区制度の特徴について伺いたい。
- (3) 本市における総合区制度の検討経過について伺いたい。
- (4) 住民代表機能に関する検討経過と今後の進め方について伺いたい。
- (5) 特別市となった場合、区長や区役所の在り方がどう変わるのか伺いたい。
- (6) 令和5年度及び令和6年度のプロモーションの取組実績と評価について伺いたい。
- (7) 実現に向けて期限を設け、市長を筆頭に熱量を持って取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 ふるさと納税について

- (1) 返礼品の開発の委託先との役割分担や注力の方向性について伺いたい。
- (2) 地域企業と協力した特別な体験型の返礼品開発のアプローチの方法について伺いたい。
- (3) 今後は、より地域資源や地元企業の協力を得た返礼品の開発に注力すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 現地決済型ふるさと納税の取組状況について伺いたい。
- (5) 現地決済型ふるさと納税の今後の展開について伺いたい。

4 シティプロモーション事業について

- (1) 令和6年度事業計画書の「都市ブランディング」の取組状況について伺いたい。
- (2) 令和6年度事業計画書の「効果測定とP D C Aサイクル実施」の取組内容について伺いたい。
- (3) 令和5年度の都市ブランド基礎調査の実施内容について伺いたい。
- (4) 令和5年度の都市ブランド基礎調査の結果から分かったことについて伺いたい。
- (5) P D C Aサイクルとしての調査結果の令和7年度のシティプロモーションへの生かし方について伺いたい。

5 ソーシャルメディアの活用について

- (1) 広報企画審議会で出されたソーシャルメディアに関する意見について伺いたい。
- (2) 広報課のXおよびLINEアカウントの閲覧状況とそれに対する評価について伺いたい。
- (3) YouTubeチャンネルの広報上の生かし方について伺いたい。
- (4) ソーシャルメディアの発信効果を高めていくための今後の取組について伺いたい。

6 P P P / P F I の推進について

- (1) 横浜P P Pプラットフォームの令和6年度の取組・成果について伺いたい。
- (2) (仮称)豊岡町複合施設再編整備事業におけるプラットフォームの活用状況について伺いたい。
- (3) 公民グループ対話で得られた事業者からの意見のP P P / P F I事業への生かし方について伺いたい。

7 データ経営の推進について

- (1) これまでのデータ利活用促進の取組の総括について伺いたい。
- (2) データドリブンプロジェクトで得られた知見について伺いたい。
- (3) データドリブンプロジェクトの拡大、加速化に向けて、外部支援を含めて体制を強化すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 坂本勝司委員（民主フ）

1 居住促進プロモーションについて

- (1) これまでの居住促進プロモーションで実施してきた内容について伺いたい。
- (2) 令和7年度に新たに実施する居住促進プロモーションの具体的な内容について伺いたい。
- (3) 今後の居住促進プロモーションの方向性について伺いたい。

2 戦略的なまちづくりについて

- (1) 令和6年度に実施した戦略的なまちづくりの検討内容について伺いたい。
- (2) 令和7年度に実施する戦略的なまちづくりの検討内容について伺いたい。
- (3) 郊外部の駅周辺における、ポテンシャルを生かした土地利用の方向性について伺いたい。

3 海に関する子どもたちへの教育について

- (1) 海に関する子どもたちへの教育の取組状況について伺いたい。
- (2) 小中学校と連携した取組状況について伺いたい。
- (3) これまで以上に、子どもたちが海を身近に感じられる取組を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 構造改革特区について

- (1) 通称「ワイン特区」における規制緩和の概要について伺いたい。
- (2) 通称「ワイン特区」申請の際に指定した特産物及び指定した理由について伺いたい。
- (3) 通称「ワイン特区」の申請の狙いについて伺いたい。
- (4) 構造改革特区制度に関する今後の活用の考え方について伺いたい。
- (要望) 特区の効果を検証するためにも、市内の特産物がどのくらい原料として使用されたのか。また、その中で廃棄を免れた規格外品がどの程度活用されたかなど、実態把握が今後必要だと考えるため、対応していただきたい。

2 サークュラーエコノミーplus×EXPOについて

- (1) 「サーキュラーエコノミーplus」をテーマにした博覧会を開催する趣旨について伺いたい。
- (2) ゼブラ企業を取り上げ、その育成・支援をテーマに議論を展開することの意義について伺いたい。
- (3) 公民連携で休眠預金活用の在り方を検討する目的について伺いたい。

3 クラウドファンディング型ふるさと納税について

- (1) 令和6年度のクラウドファンディング型ふるさと納税の実施状況について伺いたい。
- (2) 令和7年度のクラウドファンディング型ふるさと納税の活用予定について伺いたい。
- (3) クラウドファンディング型ふるさと納税における寄附拡大に向けた課題について伺いたい。
- (4) 今後のクラウドファンディング型ふるさと納税の取組の方向性について伺いたい。
- (要望) クラウドファンディングなど、区局による財源確保の取組が進むよう、全

庁的な機運醸成や環境整備をしっかりと進めていただきたい。

4 子育てしたいまち推進モデル地区について

- (1) 「子育てしたいまち推進モデル地区」における令和6年度 of 取組について伺いたい。
- (2) モデル地区に展開する施策は、当該地区のニーズを踏まえたものにするべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 今後、施策を面的に展開する手法を広げていくに当たっては、地域の実情を知る区役所が主導すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 地域ごとの子育て環境の違いを踏まえ、それぞれの地域に必要な施策を効果的に展開することにより、誰もが子育てしやすい横浜をつくっていただきたい。

5 都市ブランド力の向上について

- (1) 居住促進プロモーションのターゲット層について伺いたい。
- (2) 子育て世代を含め、多くの方に「住みたい」と思ってもらえる、横浜の強みについて伺いたい。
- (3) これまでの市外に向けての安全・安心なまちとしての魅力の発信について伺いたい。
- (4) 安全・安心なまちについての、今後の市外に向けてのプロモーションの考え方について伺いたい。

1 戦略的なまちづくりについて

- (1) 令和6年度の検討の成果の活用方法について伺いたい。
- (2) 政策経営局が、都市計画マスタープランと連動した取組を行う意義について伺いたい。
- (3) 人口増加期に作られた現在の土地利用規制については、今後の人口減少に対応して「人を呼び込む」発想で見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 戦略的なまちづくりを進めるに当たっては、各局と連携し政策経営局がけん引していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 横浜の成長につなげる循環型社会に向けた取組の推進について

- (1) 昨今の国際的なサーキュラーエコノミー政策の高まりに対する受止めについて伺いたい。
- (2) 令和7年度から循環型社会の取組を強化させる意義について伺いたい。
- (3) 令和7年度「循環型社会に関わる基礎調査」の検討内容について伺いたい。
- (4) 循環型社会の施策は、産業の活性化につながる経済分野も含めた検討を行い、横浜の成長につなげていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 個人版ふるさと納税について

- (1) 寄附者の利便性向上に向けた取組状況について伺いたい。
 - (2) 令和7年度に予定している寄附の使い道の改善内容について伺いたい。
 - (3) 本市独自のふるさと納税サイトの内容や狙いについて伺いたい。
 - (4) 市内企業が返礼品提供事業者として参画しやすい仕組みづくりについて伺いたい。
 - (5) より多くの市内事業者に参画していただき、寄附受入額を伸ばしていくための意気込みについて伺いたい。
- (要望) 制度本来の趣旨を踏まえ、地域の企業と一体となって、引き続き取組を強化していただきたい。

4 海洋産業の振興に向けた取組について

- (1) これまでの海洋分野における産業振興や人材育成に関わる取組について伺いたい。
- (2) 新たな国際海洋展の目的と具体的な内容について伺いたい。
- (3) 海洋産業の振興に取り組む意義について伺いたい。

5 大都市制度について

- (1) 地方自治法に規定された特別市制度のその後について伺いたい。
- (2) 現在の国での議論の状況について伺いたい。
- (3) 特別市の実現に向けた取組について伺いたい。

1 循環型社会の取組による市民満足度の向上について

- (1) サーキュラーエコノミーに関連したこれまでの本市の取組状況について伺いたい。
- (2) サーキュラーエコノミーは市民の満足度向上に寄与すると考えるが、見解を伺いたい。
- (3) サーキュラーエコノミーの取組を進めるに当たっては、市民と一体となって取り組んでいくことが重要と考えるが、見解を伺いたい。

2 よこはま未来の実践会議について

- (1) 「よこはま未来の実践会議」を本格稼働させることになった経緯と趣旨について伺いたい。
- (2) 「よこはま未来の実践会議」は誰もが参加できる場や仕組みとなっているか伺いたい。
- (3) 「よこはま未来の実践会議」では、市内企業を中心に、企業の積極的な参画と協力を求めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 データ利活用の推進について

- (1) 市内のデータを収集・分析する環境整備の内容について伺いたい。
- (2) 新たにデータを収集・分析する環境を整備する狙いについて伺いたい。
- (3) 市内のデータを活用しやすい状態に整えるための取組について伺いたい。
- (4) 局や分野の垣根を超えて全庁でデータを共有・活用することを当たり前とした組織間のコミュニケーションを実現すべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 余計なコストをかけずに、市内で、限りある有用なデータを幅広く活用していただきたい。

4 ネーミングライツについて

- (1) 令和7年度予算における新規計上施設数が大きく増えた要因について伺いた

い。

(2) ネーミングライツの推進に当たっては、財源確保の観点のみならず、地域活性化の効果も大切にすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) ネーミングライツを、より多くの施設に導入していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 指定管理者制度について

(1) 市と指定管理者が行う修繕の区分の定め方について伺いたい。

(2) 施設の規模に応じた修繕費を設定することが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 施設の利用環境を良好な状態に保つために、修繕の考え方について整理、見直しを行っていただきたい。

(3) 施設で働く職員の賃金の適正な水準を確保できるよう、制度を見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 指定管理者の皆様が行っている施設サービスの維持・向上の取組に応えられる制度運用とするよう、制度をしっかりと見直していただきたい。

6 横浜移住サイトについて

(1) 「おすすめエリア診断」の導入の反響について伺いたい。

(2) エリアごとの特徴の区別の方法について伺いたい。

(3) 令和7年度のサイト運用の方向性とその狙いについて伺いたい。

7 男女共同参画の推進について

(1) 男女共同参画の視点を取り入れた防災について

ア 避難所運営に携わる女性を対象とした研修の狙いについて伺いたい。

イ 避難所運営においても、平常時から固定的な性別役割分担の解消に向けて積極的に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 女性デジタル人材育成事業について

ア 今年度の女性デジタル人材育成事業の実施状況について伺いたい。

イ これまでの実施状況を踏まえ、来年度はどのように取り組むのか伺いたい。
(要望) 女性自身が経済的に自立できるよう、引き続き、しっかりと取り組んでいただきたい。

(3) 包括的性教育について

現在策定を進めている、第6次男女共同参画行動計画において、包括的性教育にしっかりと取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 女性の地位向上に向けてしっかりと取り組んでいただきたい。

7 大野 トモイ 委員 (トモイ)

1 男女共同参画行動計画について

- (1) 第5次男女共同参画行動計画の成果指標の進捗状況について伺いたい。
- (2) 第5次男女共同参画行動計画の成果指標の達成に向けた今後の取組について伺いたい。
- (3) 第6次男女共同参画行動計画の策定に向けた意気込みについて伺いたい。
(要望) 困難な問題を抱える女性が確実に支援を受けられ、自立して生活できるようになるまで、切れ目のない支援をしていただきたい。
- (4) 第6次男女共同参画行動計画では、自分の困りごとについて窓口で相談や支援を受けることができるのかひと目で分かるようにし、これまで届きにくかった女性にも支援が届くようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 若年層向けのものだけでなく、全世代を対象としたアウトリーチ事業を行っていただきたい。